

成功体験をお客様にも



車社会に夢・豊かさ・安心を
キムラユニティー株式会社

キムラユニティー株式会社は、1881年1月、名古屋にて産声を上げた企業である。

当初は木箱製造業としてスタートしたが、その後包装事業・運送事業・自動車販売整備業・車両リース業・人材派遣業等に事業領域を拡大し、2006年9月に東京証券取引所市場第一部に株式上場している。

同社では「会社はお客様のためにあり、社員とともに会社は栄える」という経営理念のもとに、

- ①物流サービス
- ②自動車サービス
- ③情報サービス
- ④人材サービス

の4つの事業分野において「お客様の価値実現」のためには何を為すべきかを常に考え、日々努力を重ねている。

1. リスクへの備え

同社では古くから『自動車』に関連する事業に携わってきたことにより、『安全』に対する意識が極めて高く、『自分の城は自分で守る』という気概のもと、数々の安全対策を実施してきた。

社屋を訪問して驚くことは、圧倒的なボリュームで目に飛び込んでくる従業員啓発を目的としたポスターや標語などである。

壁に設けられた掲示板はもちろんのこと、廊下や階段、ドアに至るまで、あらゆるスペースが交通事故防止をはじめとして労災事故防止、従業員の健康管理、公共のマナーの向上といった



▲社内に掲示されている従業員への啓発ポスター

様々なテーマの掲示物で埋め尽くされている。

同社で実施されている主な取り組みをご紹介します。

(1) 安全・健康意識調査

全従業員に無記名での提出を求めるものであり、質問表により社内の安全文化の浸透状況や各職場での安全対策・健康づくりなどについて、取り組み中の施策に対する評価、組織の管理体制への満足度も含めた率直な意見を求めている。



▲実際の質問表

(2) 歩行災害撲滅の取り組み

社内を歩行する際、

- ①ポケットに手を入れない(荷物などで両手をふさがない)
- ②携帯を操作しながら歩行しない
- ③階段では手摺を持つ
- ④斜め横断をしない

⑤歩行横断の際は指差呼称するというルールを決め、実践している。

(3) 健康状態チェック表の作成

全従業員が毎日の出勤時と退社時に自分自身の健康状態を

- ①腰痛
 - ②腹痛
 - ③頭痛
 - ④風邪気味
 - ⑤手足の痛み
 - ⑥発熱
 - ⑦貧血
 - ⑧吐き気
 - ⑨めまい
 - ⑩下痢気味
 - ⑪食欲不振
 - ⑫睡眠不足
 - ⑬体がだるい
 - ⑭歯痛
- 等

に至るまで多項目にわたって報告する制度であり、緊急の処置を受ければその内容も記載することとなっている。

(4) 事故・災害アルバム集の作成

事故や労働災害が発生した場合、事故の概要をまとめ、人的・物的発生原因の分析とそれぞれの再発防止策の報告を求め、それを基に事故事例集を作成し、将来に向けての教育の材料としている。ま

た、事故や災害によって本人や家族、企業に及ぼす影響についても周知し、認識してもらうという取り組みにも活用している。

(5) ISO39001 (道路交通安全マネジメント)の認証も取得

ISO39001は、道路交通事故による死者や重傷者を撲滅することを目的とした国際規格で2012年10月に発行されたものであるが、2014年には早くも取得していることから、安全意識の高さが伺われる。



各企業においても、いざ事が起これば同様の取り組みを当然行うであろうが、キムラユニティー株式会社で特筆すべきは、これらすべてのことが事前にシステム化され、日常業務の中に組み込まれているということである。

2. 人材育成

同社では社員のモチベーションアップと職場の活性化を目的として、階層別・テーマ別の研修を実施している他にも様々な取り組みを行っているが、その中から主なものをご紹介します。

(1) QCサークル活動

社員の能力向上・自己実現・活力のある職場づくりのために、1982年にスタートさせて以来30年以上中断することなく活動を進めている。



▲QCサークル活動発表会の受賞者

(2) フォークリフト安全運転競技会の開催

フォークリフトの安全技術・操作技術を後輩に伝承していく環境を創るため、毎年実施している。



▲フォークリフト安全運転競技会の様子



▲フォークリフト安全運転競技会の受賞者

(3) 訓練設備の設置

国内外の各工場に『訓練道場』という施設を設置し、お客様の期待に応え得る安全・品質・生産性を確保すべく、ハイレベルの作業者育成を図っている。

3. 社会貢献

また、同社では地域社会への貢献の為の活動も多数行っている。

(1) 交通安全イベントの主催

同社のお客様に広く呼びかけを行い、「100日間無事故キャンペーン」を主催し、参加されたお客様の中から優秀な結果を残していただいた先を表彰している。

(2) 愛知県警察・愛知県交通安全協会主催イベントへの協賛

警察や安全協会が行う交通事故撲滅に向けた活動を積極的に支援している。

(3) 募金・寄付活動

会社からの提供、社員の募金活動により、「愛知県交通安全母の会」や「交通遺児を励ます会」等への寄付を行っている。

(4) 機材等の寄贈

交通安全と地域社会の発展をめざし、通学児童の安全確保を目的として信号機を設置したり、警察や防犯協会に対しては、信号機、白バイ、防犯カメラ・県警のマスコット着ぐるみなどを寄贈している。

(5) 番組提供

東海地方のラジオ放送で愛知県警察が発信するメッセージを30年以上にわたり提供しているほか、渋滞情報などの交通安全に関する多数の番組のスポンサーになっている。

4. まとめ

～成功体験をお客様にも～

本来であれば、自動車の修理をなりわいとしている場合、お客様に事故や故障など、何らかのトラブルが生じてくれた方が自社の収益にはプラス要素として働くものである。

しかしながら、キムラユニティー株式会社は自社の物流部門で過去から培ってきている「効果を実感できた安全確保のための数々の取り組み」をお客様に開示し、アドバイスまでも行っている。

1976年、民間企業としては全国初となる運転適性診断機を搭載した交通防災サービスカーを導入して出張診断を開始し、1978年からお客様に対して「安全ニュース」を定期的に発行し、現在ではメールマガジンとして継続されている。

また、365日24時間体制で緊急時の受付を行うコールセンターを自主運営する等、一民間企業の枠を超えた活動を行っている。

今回は紙面の都合でご紹介できなかった他の取り組みも多数あるが、すべての取り組みについて地域社会から交通事故を撲滅したいという企業としての安全に対する姿勢や「本気度」を感じることができた取材であった。